

池の生物調査を 実施しました



港区は、生きものと共存できるまちづくりに向けて、有栖川宮記念公園内の池において、本来の自然生態系の回復を図ることを目指し、池の整備・管理、および池に生息する在来種の保全のための生物調査を9月13,14日に実施しました。

調査方法は…

カゴ罟、タモ網で、メダカやクロダハゼなどの小型の魚や、池の底にすむトンボのヤゴ、ザリガニなどの生物を採取して調べました。また、コイやカメ類は直接目で見て確認しました。

よく泳ぎまわるゲンゴロウブナ、タナゴ類などの魚は、今回の調査では、採取することはできませんでしたが、釣り人などからの話では生息しているということでした。



カゴ罟設置

採取した生きものは…

調査により採取した生きものは、基本的にもとの場所へ放流しました。外来生物法で移動、飼育などが禁じられているブルーギルなどの「特定外来生物」や生態系への影響が大きいアメリカザリガニなどの「生態系被害防止外来種リスト」（環境省）掲載種に関しては、池に戻さず処分しました。



タモ網 採取

見つかった外来生物



←採取した外来種



←ブルーギル



↑ウシガエル(幼生)

問い合わせ先 株式会社森緑地設計事務所 03-5484-6071 担当仁井(ニイ)
港区 環境課 緑化推進担当 03-3578-2331

今回の調査で確認できた生物は、魚類、両生類、甲殻類、昆虫類などの19種で、クロダハゼ、モツゴなどの在来種が10種、ブルーギル、アメリカザリガニなどの外来種が6種、その他が3種でした。

確認種一覧表（2022-9-13, 14、有栖川公園池）

区分	分類	種名	数	主な特徴・写真
在来種	魚類	モツゴ	23	いずれも成魚でサイズは大きい → 
		クロダハゼ	16	成魚だが、体調4cmほどで小型
		メダカ	21	ヒメダカ(人工種)、及び、様々な交配種を含む
	爬虫類	スッポン	1	甲長5cm弱
	甲殻類	スジエビ	5	 
		ヌマエビ	2	
	貝類	カワニナ	多数	スジエビ スッポン(稚ガメ)
	昆虫類	シオカラトンボ	10	 
		オオシオカラトンボ	3	
コシアキトンボ		5	クロダハゼ コシアキトンボ(幼虫)	
外来種	魚類	ブルーギル	74	★特定外来生物・緊急対策外来種 サイズから、1年魚、2年魚の2タイプと思われる(写真上)
		カダヤシ	2	★特定外来生物・重点対策外来種
	爬虫類	アカミミガメ	多数	★緊急対策外来種
	両生類	ウシガエル	4	★特定外来生物・緊急対策外来種 菖蒲園杭内側に、多数みられる
	甲殻類	アメリカザリガニ	96	★緊急対策外来種
	貝類	台湾シジミ	8	★その他の総合対策外来種 菖蒲園の上流に位置する流水部
その他※	魚類	キンギョ	1	
		コイ	多数	ニシキゴイ含む
	爬虫類	クサガメ	1	甲長5cmの稚ガメを、来園者が採集していた。

※ その他 キンギョ、コイは飼育種として扱った。
クサガメは外来種だが、来歴が古く、他種への影響も小さいため、経過観察種とした。

★ 「生態系被害防止外来種リスト」（環境省）上の分類